

2018年度 第2回 勉強会 「打倒!男ジャパン」

講演概要

映画監督として数々の作品を作り続けてきた浜野佐知さん。大手映画会社の入社試験を受ける条件が「大卒男子」のみだった時代に、唯一女性にも門戸を開いていたピンク映画業界で400本以上の作品を作ってきました。その後、1998年に初の一般映画となる「第七官界彷徨〜尾崎翠を探して」を発表。以降、性であれ仕事であれ、女性が主体的に生きることをテーマに作品を作り続けています。自分の納得いく映画を撮るために一般作品はスポンサーをつけずに自主制作を行い、誰にも媚びることなく、自らの信念を貫いて映画を作り続けています。

映画業界は男性社会。それだけでなく、ジェンダーギャップ指数114位の日本は依然「男ジャパン」(浜野佐知さんの言葉より)です。その中で女性として戦うためには困難も多くあったと思われます。勉強会では浜野監督のこれまでの人生と制作してきた映画のお話、そして現在制作中の映画「雪子さんの足音」についてのお話を通し、男性社会で女性が主体的に生きるために持つべき信念は何かを考えます。

日時	2018年9月8日(土) 18:00～20:00
会場	朝日エル 大会議室(東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館 5F) [東京メトロ日比谷線 築地駅 2番出口から徒歩3分、1Fにソフトバンクショップがあります。]
参加費	会員:1,000円／一般:2,000円／学生:500円(学生証の提示が必要です。)
申込方法	参加イベント名、参加者の氏名・所属・連絡先(グループで参加の場合、参加者全員の氏名・所属と代表者の連絡先)を明記の上、下記お問い合わせ先へメールまたはFAXにてお申し込みください。 https://kokucheese.com/event/index/532439/ からもお申し込みが出来ます。 [お申込の際の個人情報、申込後の事務連絡、統計資料等の作成に使用いたします。利用目的以外での使用は、一切いたしません。]

講師:浜野 佐知(映画監督)

【講師プロフィール】

1948年生まれ。高校時代から映画監督を目指し、上京して映画界への道を探るが、当時日本の映画界は男性中心の社会であり、映画会社への就職条件は、「大卒・男子」で、女性を演出部として採用するような前例は皆無だった。1968年から、独立系の映画製作プロダクションで助監督として、映画制作にたずさわる。1971年、ミリオンフィルム(現ヒューマックス)から『17歳、好き好き族』で監督デビュー。1984年、映画製作会社・株式会社旦々舎を設立。代表取締役。以後、監督・プロデューサーを兼任し、「性」を女性側からの視点で描くことをテーマに400本を超える作品を発表する。1998年初の一般作品「第七官界彷徨〜尾崎翠を探して」を発表。その後、2001年に高齢女性の性を描く「百合祭」、2006年に尾崎翠の作品を原作とした『こほろぎ嬢』、2011年に女性文学者同士の愛の日々を描く『百合子、ダスヴィダーニヤ』、2014年ジェンダーの交錯性を描く『BODY TROUBLE一男が女になるビョーキ?』を発表。各作品とも世界各国の映画祭にて賞を受賞している。

■お問い合わせ■

一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会 事務局
〒104-0045 東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館5階(株式会社 朝日エル内)
TEL:03-5565-3588 / FAX:03-5565-4914 / E-mail:pwcs@ellesnet.co.jp